

**余島キャンプのレガシーを引き継ぎ次世代に繋げるための協議会（仮称）
準備委員会の発足について**

発起人 阪田晃一、山本亮司、萩原学

この度、神戸YMCAが2026年3月末を持って余島でのキャンプ事業の継続を断念し、その運営から撤退することとなったこと受け、有志で上記協議会（現時点では準備会）を発足することとなりました。ここお知らせすると共に、ご理解とご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

さて協議会は、永きに渡り余島キャンプ場で行われてきた青少年育成事業には公共性があり、YMCAとしての運営が困難になったとしても、その公共性は引き継がれるべきだとの観点に立ち、そのレガシーを引き継ぐこと、そして次世代に繋げることをその目的としています。

余島にはかつて余島一族が移り住み、およそ15代にわたって島守をしてきたと聞いています。その後に神戸YMCAが戦後日本の復興を願い、地元の方々の協力のもと、教育的なキャンプ事業（青少年育成）をスタートさせました。開設当初は戦後の社会教育の重要な拠点となり、また日本が豊かになった高度経済成長期には、人々の健全な成長を願うキャンプ場として、75年間子どもや若者たちにキャンプ活動を通じた豊かな体験を提供してきました。さらに豊かさとは何かが自明のものではなくなり、気候変動、頻発する自然災害、コロナウイルスなどのパンデミック、そして自殺や不登校など普段の生きづらさが顕在化した2000年代以降は、「多様性と包摂性」を体現し体験できる貴重な場所として、社会的役割を担ってきました。

以上を踏まえて、協議会では今後も余島が公共的な場所であり続けるように、働きかけを行っていくつもりです。つきましては、余島を愛し、その恩恵を子子孫孫にまで守り伝えたいと思う皆さま、ぜひ協議会にご協力をお願いします。下記のように発足致しましたのでご確認ください。今回の危機を機に、皆さまのより一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

記

名 称：余島キャンプのレガシーを引き継ぎ次世代に繋げるための協議会（仮称）準備会
事務局：阪田晃一（神戸YMCA職員）、萩原学（リーダーOB）
連絡先：office@yoshima.org
発起人：

阪田晃一

1983年生まれ、神戸YMCA職員（2006年～）、余島センター所長（2018年～）

山本亮司

1981年生まれ、神戸YMCA職員（2007年～）、余島キャンプ長（2009年～）

余島リーダーOB（2003年度卒）

萩原学

1981年生まれ、余島キャンパー、余島リーダーOB（2003年度会長）

株式会社ヘンリー 取締役 兼 COO / CFO

以上